

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
幼児教育研究会Ⅲ	2	前期	演習	1	大迫 千佳子
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>テーマ「発達に応じた運動遊び」</p> <p>幼児の運動発達を理解し、発達年齢に応じた運動遊びを保育活動に取り入れることにより育ちに適した運動遊びを計画実践することができる。このことから、適した遊びを通して幼児理解が深まり保育者と幼児との関係性が豊かなものとなる。</p>					
<p>○授業の概要</p> <p>幼児の発達年齢における基本動作を授業や教本などで学ぶ。実践活動として、運動遊びの主な手段で「サーキット・伝承・模倣」等があるがこれらの遊びのねらいと活動方法を参考資料などで研鑽しながら立案し実践活動の取り組みを進める。チームの協調性と思いやりを大切に保ち、目的意識を一つにして学生の主体的で意欲的な発想で活発に取り組むこととする。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回：ミーティング（年間計画・グルーピング・役割り分担）</p> <p>【事前学修】 活動内容の準備</p> <p>【事後学修】 活動内容の把握・グルーピング及び計画</p> <p>第2回：研究テーマを考える。子どもの運動発達の理解（教育・保育要領解説書）</p> <p>【事前学修】 幼児の運動機能発達調査</p> <p>【事後学修】 運動機能調査を書式にまとめる。グループごとに調査報告</p> <p>第3回：年齢に応じた遊びを探る（表作成及びグループ発表）</p> <p>【事前学修】 遊びの実践準備</p> <p>【事後学修】 幼児にとって適切な動作であることにねらいを定め、遊びの方法を考え実践する</p> <p>第4回：運動遊びの種類とねらいを学ぶ（グループ研鑽）</p> <p>【事前学修】 前回の実践を踏まえた計画</p> <p>【事後学修】 目的を明確にし、グループ討議して計画する</p> <p>第5回：運動遊び実践活動の観察と助言</p> <p>【事前学修】 計画構成（環境構成及び道具の準備）</p> <p>【事後学修】 実践及び振り返りと記録</p> <p>第6回：コーディネーショントレーニングで運動神経の発達を育むⅠ</p> <p>【事前学修】 資料を読み、運動ができる環境を整える</p> <p>【事後学修】 実践活動</p> <p>第7回：コーディネーショントレーニングで運動神経の発達を育むⅡ</p> <p>【事前学修】 資料を読み、運動ができる環境を整える</p> <p>【事後学修】 実践活動</p> <p>第8回：幼児運動指針学習（文科省監修）</p>					

【事前学修】資料を読み。課題解決に向けた調査（グループ活動）

【事後学修】学習内容から、運動遊びを実践する指導者の役割りを考察する。

第9回：道具を使った遊びの道具作成計画（グループ検討）

【事前学修】体を使って遊ぶ方法を調査し、道具や環境を考える

【事後学修】ねらいを設定して、発達に沿った運動遊びの環境と道具作成

第10回：道具製作準備

【事前学修】幼児の興味関心を調査し、グループ討議

【事後学修】道具作成に向けた素材収集

第11回：道具製作活動

【事前学修】製作活動に取り組む

【事後学修】環境構成計画立案のもとに、実践活動に取り組む

第12回：道具作成と遊びの実践（ダイナミックな遊びから得るもの）

【事前学修】製作活動に取り組む

【事後学修】環境構成計画立案のもとに、実践活動に取り組む

第13回：道具の実践（遊びから得たものと改善点を考える）

【事前学修】製作活動に取り組む

【事後学修】環境構成計画立案のもとに、実践活動に取り組む

第14回：保育現場実践計画（グループ討議計画）

【事前学修】製作活動に取り組む

【事後学修】環境構成計画立案のもとに、実践活動に取り組む

第15回：道具製作準備（材料収集）

【事前学修】製作活動に取り組む

【事後学修】環境構成計画立案のもとに、実践活動に取り組む

○テキスト

随時配布

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館

「幼児運動指針」文科省

「子どもの発達が分かる本」（龍谷大学教授 金子龍太郎氏 ・ 藤女子大学準教授 吾田 富士子氏）

「子どもの運動遊び」（松本短期大学 柳沢秋考氏）

「3~5歳児の自信を育む運動あそび 非認知能力がぐんぐん伸びる」

○学生に対する評価

目標の達成度（50%） 受講態度（20%） 受講へ取り組み（30%）